

川薩清修館高等学校 学校内部評価(職員) アンケート総括

④そう思う ③だいたいそう思う ②あまり思わない ①そう思わない

	No.	アンケート内容	今年度の取組	職員評価	評価の分析と改善方策
A 【学校の組織・経営全般に関する評価】	学校経営目標	1	各学科の特徴を生かし、生徒一人一人の個性を伸ばしている。	3.0	R4新教育過程に向けて系列選択の方法を検討・改善する。上級資格取得と地域活性化への取組を計画的に行っていく。
		2	基礎学力の充実に努め、進路目標を実現させている。	3.1	基礎学力定着会を学年会で実施したが、内容をいかに実効性のあるものにするかが課題。
		3	体験活動の充実に努め、豊かな人間性や社会性を培う教育活動が展開されている。	3.0	全5回(小学校4回、中学校1回)、ホッケー、陸上に加え、今年度はプログラミング(商業科)でも実施できた。
		4	地域の学校として地域活動やボランティア活動等に積極的に参加し、信頼を得ている。	2.8	「あまりそう思わない」が約31%となっており、活動できていない。何ができるかを生徒とともに検討する必要がある。継続的なボランティア活動の啓発に努める。
	組織	5	校務分掌が適切に組織され、有効に機能している。	2.8	満足できる評価ではないが、直近3年間では最も高い評価ではあった。組織的・機能的な校務遂行を図る。係担当職員のみでなく、係会で問題点を検討・改善し提案を行う。
		6	教職員が相互に信頼・理解しあい、協調体制がとられている。	2.7	満足できる評価ではないが、直近3年間では最も高い評価ではあった。各職員が行っている業務の見える化を進め、連携を図れる体制づくりを進める。
		7	不祥事防止に向けて、研修や啓発に努めている。	3.5	「感情コントロール教育プログラム」は、職員の心に届く良い研修であった。来年度以降も、効果のある教育プログラムを導入する。
		8	業務改善に対して組織の改編や業務の見直しをしている。	2.9	今年度、大幅な改正を行ったが、まだまだ、足りないという結果であった。4月の編制に向けて、改善を図る。
B 【学校運営に関する評価】	教務教科	9	新学習指導要領についての理解・対策が図られている。	2.9	令和4年度入学生の新教育課程を検討
		10	様々な資格を取得するための体制が整っている。	3.1	課外・授業・放課後などをつかった検定対策 主に授業の中での取組に重点 不足部分を放課後指導で対応
		11	教科会等において学力分析を行い、授業法の工夫・改善が講じられている。	2.8	公開授業等を通じた授業の改善
		12	魅力ある学校づくりを目指して、活動をPRし、情報発信がなされている。	3.3	清修館だよりの充実、学校ブログの情報発信
		13	P T A会員との協力を軸として、組織的なP T A運営が行われている。	2.9	新型コロナウイルス感染症防止のため、ほとんどの活動が停滞
生徒指導	14	家庭・地域・関連機関と連携のとれた指導が行われている。	2.8	問題行動等発生時は、家庭との協力・連携による指導	
	15	スマートフォン等の適切な使い方と情報モラルについて啓発・指導が行われている。	2.9	情報モラル教育合同LHRを計画 持ち込み規定違反のその都度指導実施	
	16	生徒の発するサインを見逃さず、早期発見に努め、関係職員と情報共有しながら早期対応がされている。	3.0	学校生活アンケートの年5回計画 現在4回目実施	
	17	いじめや差別のない人間関係を構築し、自他の生命を尊重する態度を育てている。	3.1	いじめを考える週間やいじめ統一LHRを計画し、実施	
進路指導	18	交通ルールの遵守と交通マナーについて適切な指導が行われている。	3.0	交通安全教室、原付運転講習会を計画、実施 交通違反や交通事故発生時等の係による啓発	
	19	生徒・保護者に対して進路に関する情報が提供されている。	3.3	各学期末に加え、コロナ号、就職、進学合格号の発行	
	20	進路に関するガイダンスやセミナー等を行い、適切な指導が行われている。	3.4	コロナの影響もあり、中止、時期変更で実施	
	21	生徒の進路実現のために、個別指導や放課後指導がなされている。	3.2	共通テスト対策や面接対策の実施	

川薩清修館高等学校 学校内部評価(職員) アンケート総括

④そう思う ③だいたいそう思う ②あまり思わない ①そう思わない

	No.	アンケート内容	今年度の取組	職員評価	評価の分析と改善方策	
特別活動・学級活動	22	よい学校生活づくりに参画する意識を高め、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度が育成されている。	生徒会長の発案で、頭髮服装指導への呼びかけ実施	2.7	生徒の自主的活動に向けて、生徒会を中心に生徒と対話を行う必要がある。	
	23	部活動を通して健康で豊かな心身を育成する指導がなされている。	高校部活動活動方針の周知・徹底 部活動の練習計画の整備 新型コロナウイルス感染対策の徹底による大会参加などの保健部との協力体制により実施	3.1	「そう思う」「だいたいそう思う」が90%と、高評価である。	
	24	学習と部活動の両立を図れるように職員間の連携や支援が行われている。	学習実態調査の分析と活用 大会前後の課題提出状況等の確認	2.8	学習との両立については、欠点者の指導等も含めて幅広い連携が必要である。	
	保健安全	25	薬物乱用防止やたばこの害、性に関する指導は適切に行われている。	コロナ対策をしながら、薬物乱用防止と性に関する講話を実施 たばこの害については、1学年の教科「保健」の授業で実施	3.3	コロナ感染症の予防をしながら、学年にあった指導を実施する。
26		学校内の施設設備は整備されており、健康で安全な学習環境が整備されている。	月1回の安全点検日に施設設備を点検	3.2	月に改善箇所を事務室と連携し確認、修繕している。継続して実施していく。	
27		生徒の健康管理について、家庭と連携を図り取り組まれている。	各学級の担任団、部顧問と連携	3.2	生徒の守秘義務を守りながら、学級及び学年、部顧問と連携を図る。	
28		新型コロナウイルス感染症に対して、感染予防の適切な指導が行われている。	保健体育の授業内でのプリント指導と教室掲示での学級指導 学期毎の保健講話	3.3	評価3が大多数ではなく、評価4が大多数でなければならないこと。わかりやすい情報提供と定期的な連絡指導を徹底する。	
C 【個人の教育活動に関する評価】	全般	29	生徒との触れ合いを大切に共感的な理解に努め、生徒との信頼関係を構築している。	①職員間で生徒状況の共有、生徒目線に立ち、個々に応じた指導 ②教育相談は、時間をかけて全生徒との面談を実施 ③学年で生徒情報を共有し、生徒への声かけ実施	3.1	①生徒関係を良好に構築するための努力を行っているが、一方通行にならないように更に相互理解に努める。 ②さらに、機会を見つけて声かけをしながら、信頼関係を作っていく。 ③学年で生徒情報を共有し、手立てを話し合い、全職員で声かけを行う。
		30	サービス内容を理解し、サービス規律を遵守し、社会から信頼される行動をしている。	自己評価の実施 不祥事防止標語の作成	3.4	サービスについては、教育公務員としての根幹であるので、全職員が4.0を示せるように啓発活動を行う。 職員から募集した不祥事防止標語を職員朝礼にて掲示して啓発
		31	校務分掌を適切に処理し、工夫改善を図っている。	係業務一覧を作成し、個々の校務を明確化	3.1	前年踏襲でなく、相違工夫とPDCAサイクルによる校務遂行の徹底を図る。
	教科指導	32	生徒個々に応じた指導・助言を適切に行っている。	成績不振者に対する学期末個別指導の立案・実施	3.2	不振者の一斉指導をなくし、個別指導を行えたことは良かった。
		33	予習・復習・課題等の点検を常に行っている。	各教科・科目の実態に合わせて、効果的に実施	3.0	各教科・科目の特性を活かした課題等の工夫が必要。
		34	生徒の主体的な学習法やオンライン授業への対応など授業法の工夫・改善に取り組んでいる。	ICT関連の職員研修の実施、授業でのICT機器の活用	2.7	タブレットの利用など、来年度から本格的に活用できると期待している。公開授業を活用し教職員同士の研鑽の機会をつくる。
	生活指導	35	あいさつやマナー、基本的生活習慣の確立に向けた指導を行っている。	校内や授業の始まり、終わり等での挨拶、生活リズムの見直し等について、機会を捉えて啓発	3.2	学期末の指導講話等での呼びかけをしたが、まだ発信が足りないと感じる。
		36	校則や社会のルールを守らせる指導を行っている。	頭髮服装面のみならず、持ち物や授業参加の態度等について職員にたびたび協力依頼	3.2	呼びかけに協力いただいたことから、少しずつ良くなっている。継続していきたい。
		37	いじめ防止基本方針に基づき「いじめは絶対に許さない」という姿勢で生徒の指導している。	学校生活アンケート等の実施、未然防止のための指導徹底	3.4	いまのところ重大事案は起きていない。啓発も含めて指導を徹底したい。
	保健指導	38	清掃活動や放課後の教室点検等を通じて、生徒の学びにふさわしい環境整備に努めている。	週番日誌で前日の教室状況を担任が確認	3.3	環境美化への意識を高める取組 清掃の徹底への呼びかけ、保健委員会の定期的な巡回点検など
		39	新型コロナウイルス感染症予防の指導に対し、適切な指導を適時行っている。	新しい情報を適時提供	3.2	新しい情報を理解しやすい資料で準備する。
他	40	各種研修に積極的に取り組んでいる。	行事の精選により研修時間確保	3.2	より効果的な研修になるよう、内容等の精選が必要。	
	41	P T A、地域等の活動に積極的に協力している。	新型コロナウイルス感染症防止のため、ほとんどの活動が停滞	2.9	感染症対策が落ち着いた、より多くの対外的活動ができることを期待したい。	